

日 時 令和元年9月18日(水) 3時間目 10:50~11:35 (45分)
会 場 上田市立南小学校図工室
参加人数 122人
(内訳 5学年全生徒116人 教頭・教諭6人 講師、事務局含まず)

【授業…45分】

上田市の農産物の魅力 講師:長谷川 正之 氏(上田市農産物マーケティング推進室専門員)



【矢崎学年主任から講師の紹介】

- ・講師を本校にお招きするのは、本日を含め3回目となる(銀行員・県職・市職員)。
- ・上田市で、「なないろ農産物」のPRをしている。
- ・『わたしたちの上田市』(小3・4年社会科学習帳)で「農家のしごと」で学んだ農産物を具体的な説明を聞き、地元の農産物を知る。

- ・まず、本日の授業の進め方、上田市の農産物、どのような作物があるのか。次に長野県と上田市の標高と気象を学ぶ。次に市が誇る4つの農産物を紹介する。
- ・まず、上田市の位置、生島足島神社を示すが、何と書いてあるか、「日本の中央」だ。
- ・それでは、クイズ1で聞く。13年前に合併した上田市。合併により面積はどれだけ増えたか?→人口は1.3倍、面積は3倍に増えた。結果として、地元で収穫される農産物は豊かになった。
- ・上田地域の主な農産物は、第一位は、米、第二位はレタス、第三位はりんご、第四位は、ぶどう。ブロッコリーや松茸等もある。
- ・では、北の菅平高原2,300m~美ヶ原高原2,000mまでの標高毎の農産物はどうか。レタス~りんご~ぶどう~米等。
- ・では、クイズ2。上田で様々農産物が収穫されるが、今、市では、何と名付けているか?→なないろ農産物(ここで、用意した法被を着用する。)
- ・長野県と上田市の標高と気象。この違いは圧倒的。この事が、農産物に美味しさをもたらす。
- ・クイズ3。全国の標高500m以上の耕地は5%。では、長野県の標高500m以上の耕地は?→80%である(圧倒的!)
- ・ちなみに東京タワーは、高さ333mで、海拔18mに立っているのに、351mになるが、上田市立南小学校は、海拔435m。何と東京タワーより84mも高い。
- ・ここでクイズ4 県内で一番日照時間が長く、降水量が少ない果樹の栽培適地は?→上田である。
- ・これは、平成14年から23年までの10年間の平均で分かる。県内で上田の年間日照時間は、第二位の諏訪(2,135時間)を抜き、2,158時間。降水量は、第二位の長野(979mm)を抜き、932mm。果樹の適地である。



【クイズ形式での出題で理解を深める。】

- ・ 上田市の合併後の人口と面積
- ・ 上田の農産物のキャッチフレーズ
- ・ 標高500m以上の耕地の面積
- ・ 上田の日照時間と降水量
- ・ 塩田平の面積

- ・ 上田市を代表する4つの農産物は、「うえだみどり大根（塩田）」「大豆ナカセンナリ（塩田）」「ブルーベリー（真田）」「ワイン用ぶどう（丸子）」である。
- ・ 長野県は、農産物にとって素晴らしい環境。
- ・ 塩田平の面積は、900ha。東京ドームで換算すると190個。
- ・ 「1 うえだみどり大根」上田の地大根で、戦後、中国から帰還した旧日本兵が持ち込み、地元の大根と自然交配で生まれる。水分が少なく、糖分が豊富。現在は、生産組合が組織された。
- ・ 日テレ『青空レストラン』で、宮川大輔、佐藤菜里が食べた（かなりの児童が知っている。）
- ・ 講師は、天ぷらが一番の好物。カリッと揚った大根の絶妙な水分が大好きである。
- ・ 「2 塩田産大豆ナカセンナリ」は、塩田に生産グループがある。ここで、クイズ6、この大豆は、種子大豆として県内に供給されているが、全体の何パーセントか？
→何と80%
- ・ 上田地域外の大豆加工会社から支持・信頼されてる大豆ナカセンナリ。
- ・ 加工品として、味噌（武田味噌 華城下）、納豆（村田商店 道祖神納豆）、豆腐（田内屋 きぬ）、高野豆腐（登喜和冷凍食品 高野どうふ）
- ・ 「3 ブルーベリー（真田地区の注目農産物）」は、アントシアニンの効用で健康に良い。
- ・ 野菜は、「食物繊維」が豊富、「腸能力？」である。
- ・ 「4 ワイン用ぶどう」は、いよいよ、21日（土）に丸子の陣場台地に、メルシャンのワイナリーが開業することとなった。
- ・ 荒廃農地21haをワイン用ぶどう畑に再生させた。
- ・ 平成25年6月長野県では、信州ワインバレー構想を打ち出し、今年6月末までに51社のワイナリー（ぶどうからワインを造る工場）が出来た。
- ・ 平成28年5月伊勢志摩サミットで、メルシャンの丸子産ぶどうを使った「マリコ・ヴィンヤードオムニス2012」が提供された。しかし、このワインは、山梨県勝沼市でボトリングされた（これからは、丸子のワイナリーで製造可能となる。）。
- ・ 誇れる事実はまだある。トランプ大統領夫妻を招いた晩餐会で塩田平の東山地区産のぶどうを使用したワインが提供された。



【児童へのクイズ】

- ・方々から、回答が出る。
- ・ダジャレもあるので、笑いを誘う。
- ・上田を代表する農産物が良く分かる。



【児童に地元産大豆の加工品を示す。】

児童の意見

- ・近くのスーパーでも売っているので、今度買う。
- ・素晴らしい環境で作っているの、きっとおいしいと思う。

まとめ

- ・上田市では、様々が農産物が収穫され、「なないろ農産物」と名付け積極的にPR。
- ・上田市は、農産物に適した気象でトップクラスの適地。
- ・上田市の4つの農産物について【外部からの高い評価】
 - ① うえだみどり大根は、テレビで取り上げられ評判を呼び、地元生産が盛んになる。
 - ② 塩田産大豆「ナカセンナリ」は、加工用として地域外事業者から高い評価を得た。
 - ③ ブルーベリーは、健康効果が期待出来ることからさらに力を入れる。
 - ④ ワイン用ぶどうは、丸子や塩田の東山地区が世界基準の産地。21日には、新たに上田地域初のワイナリーが開業。ワイン産業発展、新たな産地化へ変貌する。